

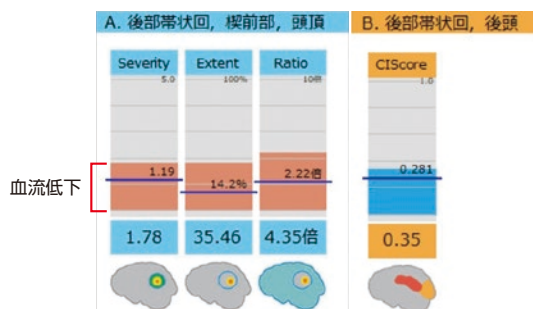
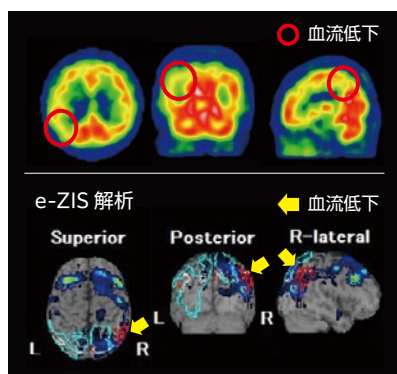
放射線科トピックス 脳血流検査(RI検査)のご案内

その物忘れ、“年齢のせい”で終わらせていませんか？

「最近、同じことを何度も聞いてしまう」「人の名前がすぐに出てこない」——そんな物忘れが気になることはありませんか。加齢による変化と思われがちな物忘れですが、その中には認知症や軽度認知障害(MCI)のサインが隠れている場合があります。浅ノ川総合病院では、**脳の血流状態を調べる『脳血流検査(RI検査)』**を行い、**認知症の早期発見・早期対応に取り組んでいます。**

脳血流検査(SPECT)とは？

脳のどの部分がどれくらい働いているかを、“血流”として可視化する検査です。MRIやCTではとらえられない早期の脳血流障害を捉えることができ、認知症の可能性やタイプの評価(軽度認知障害(MCI)、アルツハイマー型、血管性型、レビー小体型、前頭側頭型、など)の早期発見に役立ちます。



検査の流れ(30分ほどで終了します)

1. 検査薬の注射
2. 検査寝台に横になる
3. 撮影・画像収集

痛みは注射のときだけで、検査中は横になっているだけです。
日帰りで受けられ、身体への負担も少ない検査です。



このような方におすすめです

- ☐ 同じことを何度も聞いたり話したりする
- ☐ 物の置き場所を忘れることが増えた
- ☐ 約束や予定を忘れることがある
- ☐ 名前や言葉がすぐに出てこない
- ☐ 以前はできていたことに時間がかかる
- ☐ 家族や周囲から「物忘れ」を指摘された

未来のあなたのために

10年後の“あなた”は、今の“あなた”ですか？

脳の変化は、自分では気づきにくいものです。
気になる症状がある方は、どうぞお気軽にご相談ください。

認知症は、「予防」と「早期発見」の時代へ。
脳血流検査が、あなたの未来の安心につながります。



放射線科部長
米山 達也

『最近、もの忘れが増えたかな?』。そんなご自身やご家族の変化に、不安を抱えていませんか？

脳血流検査(核医学検査)は、脳の血流を画像化することで、頭の働きや病気のサインをいち早くキャッチできる非常に優れた検査です。検査というと身構えてしまうかもしれませんが、実際はベッドに横になっているだけの負担の少ないものです。『気のせい』と見過ごさず、まずは現状を知ることが健康な未来への第一歩です。どうぞお気軽に、いつでも私たちにご相談ください。